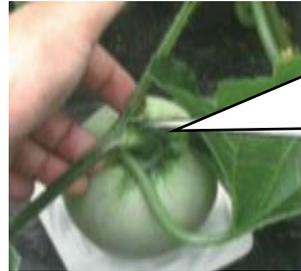




ハウス早熟栽培は平年に比較してやや早く、トンネル早熟栽培は平年並で順調な生育状況となっています。今後の栽培管理のポイントは、ハウス早熟栽培は着果後の適切な果実肥大、トンネル早熟栽培は交配前の初期生育確保です。こまめな管理を行い、高品質生産を目指しましょう！

## ハウス早熟栽培 ～果実肥大期の管理～

- (1) ハウス内温度：15～30℃で管理、6月初旬までは夕方ハウスを密閉して保温
- (2) 玉直し ソフトボール大の頃に、枯れた花弁をとり、果実を正座させる
- (3) 灌水：○着果～ソフトボール大まで
  - 徐々に灌水を増やし、肥大を促す
  - ネット発生初期
    - 灌水は控えめ
  - ネット発生盛期（横ネットの発生）
    - 灌水やや多め、少量多回数の灌水
  - ネット完成期（着果後35日以降）
    - 徐々に灌水量を減らし、萎れない程度の灌水量
- (4) 追肥：全量基肥体系以外は着果後に草勢に応じてN成分で1～2kg/10aを施用
- (5) つる管理：不要な果実と不定芽は早めに取り除きましょう



← 玉直し  
果実に触れず、着果枝をもって正座させる

## トンネル早熟栽培 ～トンネル内の温度管理～

- (1) トンネル内の温度管理：15～30℃の範囲で管理
- (2) 灌水：○定植～本葉10枚頃：株元のチューブで灌水、控えめ
- 本葉11枚～17.8枚頃：うね上2本のチューブで灌水、やや多め
- 交配期：少量の灌水、萎れない場合は灌水しない

**Point** 露地は、降水量を考慮して、灌水しましょう

## 病害虫防除 ～早期発見と適切な防除～

気温が高くなり、病害虫が発生しやすい時期となります。早期発見に努め、被害を最小限に抑えましょう。

防除は晴れた日の朝に行い、換気を良くして、速やかに薬液が乾くようにしましょう。

J Aの防除基準を参考に使用基準を厳守し、農薬の適正使用に努めましょう。

**注意!** 株の萎れがある場合は、病害の可能性があるので、J Aや普及課に相談してください。



写真 つる枯病

問い合わせ先：

庄内総合支庁 農業技術普及課 TEL：0235-64-2103  
酒田農業技術普及課 TEL：0234-22-6521

作成：庄内砂丘メロン産地  
強化プロジェクト会議